

2020年4月8日

高1・高2の保護者様
生徒の皆さま

新渡戸文化高等学校
校長 小倉 良之

未来の授業つくりに向けて ～なぜ、課題を出すだけの授業にしないのか？～

陽春の候、日頃より本校の教育活動にご協力いただき、感謝いたします。

今週よりオンライン授業が始まりました。授業について、新渡戸文化学園・高等部は、HPで課題を提示したり、課題をご自宅に郵送する方法を取りませんでした。その理由は、予測不可能時代に立ち向かう生徒たちにとって、身につけて欲しい力を養う教育を目指すためです。

私たちがこれまで話し合ってきた「問い」を共有させていただきます。よろしければ、お子様と一緒に私たちが話し合ってきた問いをご覧くださいいただければと思います。

◎3月末 コロナ問題の長期化を予想して

- Q コロナ問題の長期化に向けて、学校は何を最上位目標にするか？
- Q 生徒の「安全」のために学校はどうか？
- Q 生徒が「安心」して学べる環境をつくるために、学校としてどうか？
- Q 予測不可能時代(今の状況を含む)を生き抜くために、「必要な力」とはどんな力か？
- Q 教科の課題をHPで提示したり、郵送することで、「必要な力」を育めるのか？
- Q 人(生徒)は、授業があって、課題があるから学ぶのか？
- Q GoogleclassroomやZoomなど、どのアプリを、何のために、どのように活用するか？
- Q いつ、生徒たちに今後の方針を伝えるか？

・・・結果、4/3(金)に全校生徒の登校日とする。4/7(水)緊急事態宣言発令。

◎4月から今日まで オンライン授業がスタートして

- Q PC,iPad,スマホ等の環境が良好ではない生徒に、どのように対応するか？
- Q オンライン授業のできることは何か？できないことは何か？
- Q オンライン授業を通じて、皆さんとどのような授業をつくっていただけるか？
- Q 学校が再開した時にもつなげる授業デザインとは？
- Q 今だからこそ、どんな授業に挑戦できるか？
- Q 今までの授業のあり方で見直すことはないか？

問い合わせ

統括校長補佐 山藤(さんとう) ☎03-3381-0408